

平成 29 年度の事後調査実施状況

鳥取県東部広域行政管理組合では、可燃物処理施設整備事業について環境影響評価を実施し、現在事後調査を行っています。（事後調査の詳細については、事後調査計画書 第4章を参照）

平成29年度に実施した事後調査の概要は表 1に示すとおりです。

表 1 平成29年度に実施した事後調査の概要

項目	内容	結果	項目
植物	貴重植物の移植後のモニタリング	<p>【内容】 調査項目：コクラン、ミズマツバ</p> <p>調査内容：コクラン、ミズマツバの移植箇所において植物の活着状況を確認する。</p> <p>調査時期：対象植物の状況確認に適した時期に1回。</p> <p>【実施日】 コクラン： 平成29年8月2日(水) ミズマツバ： 平成29年8月2日(水) 平成29年10月5日(木)</p> <p>調査地点：事業実施区域内の移植地コクラン 2地点 ミズマツバ 1地点 (調査地点は植物保全の観点から図示しない。)</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-19頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コクラン：平成28年に再移植した区画では計33株のうち、20株の生育を確認しました（生存率60.6%）。 ・ミズマツバ：生育株を確認することはできませんでした。
	ホンゴウソウの保全措置	<p>【内容】 調査項目：ホンゴウソウ</p> <p>調査内容：ホンゴウソウの生息地点を確認し、分布状況、株数を確認する。</p> <p>調査時期：ホンゴウソウの確認しやすい時期(8~10月)に1回。</p> <p>【実施日】 平成30年10月5日(火)</p> <p>調査地点：環境評価書における確認地点 1地点 (調査地点は植物保全の観点から図示しない。)</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-19頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホンゴウソウ：コドラート内及びその周辺において174株の生育を確認しました。

動物・水生生物・生態系	フクロウのモニタリング	<p>【内容】 調査項目：フクロウ</p> <p>調査内容：任意調査、定点調査等によりフクロウの縄張りの分布状況、繁殖状況を把握する。</p> <p>調査時期：フクロウの繁殖時期である2月、4月、6月に実施。</p> <p>【実施日】 平成29年5月1日(月) 平成29年6月5日(木) 平成30年2月15日(木)</p> <p>調査地点：事業実施区域周辺約5.0km (詳細は事後調査計画書を参照)</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-20-21頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フクロウ：5月、6月、2月にモニタリングを実施し、10例確認されました。
	カスミサンショウウオ・イモリの仮移植及び仮移植後のモニタリング	<p>【内容】 調査項目：カスミサンショウウオ・イモリ</p> <p>調査内容：任意調査により移植したカスミサンショウウオの産卵状況、繁殖状況を把握する。</p> <p>調査時期：カスミサンショウウオの産卵器、イモリの越冬期である2月、3月に実施。</p> <p>【実施日】 平成31年2月14日(木) 平成31年2月15日(金) 平成31年3月5日(火) 平成31年3月6日(水)</p> <p>調査地点：事業実施区域周辺約0.2km</p> <p>調査内容の詳細については、事後調査計画書 4-20-21頁を参照。</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カスミサンショウウオ：楮谷溜池上流湿地において2月に卵のう3対、3月に成体3個体を確認し、産卵場所となっていることを確認しました。 ・イモリ：移植地ではイモリの生息は確認されませんでした。

<平成29年度の主な実施状況写真等>



ロープ設置風景
(コクラン、ホンゴウソウ)



コクラン移植作業風景



確認されたホンゴウソウ



移植したため池生物



フクロウ林内踏査で確認された樹洞



移植したカスミサンショウウオ



カスミサンショウウオの成体



イモリの移植個体
(腹の模様で個体を識別)